

クラウンもっちい休業します

しずおか大道芸新聞

第13号



静岡の街での大道芸や全国各地のイベントで活躍してきたクラウン「もっちい」が、九月から休業に入った。休業期間は半年ぐらひの予定だという。休業について尋ねるとも「これまでのもっちいの活動を振り返ってもらった。」

時間をかけて、自分が納得できるパフォーマンスを作りたい。もっちい休業のいちばんの理由だ。「完璧主義なんですよ」もっちは自らをそう語る。これまで、クラウンとしてイベントに出演する度に、頭に思い描く演技と現実の自分の演技とのギャップに、落ち込むことが多かった。中途半端なものも人前に出したくないと思いつつも、出演依頼はもっちいの「作品」の完成を待つてはくれない。刻々と本番の日は訪れる。いつも「試作品」を演じているような感覚だった。

「衣装、音、小道具、構成、全て自分の納得するものを（観客に見せたい）」しばらくは「見せる」仕事を休業し、「創作」仕事に専念する。大道芸をやるには厳しい冬を越えて、春が訪れた頃、創り上げたパフォーマンスで活動再開するつもりだ。

もっちは二つのクラウンスタイルを持っている。強烈な「おばさんキャラ」の「クラウン タケコ」（右写真）とかわいい系の「クラウン もっちい」（下写真）。



もっちいが初めてクラウンをやるうと思ったのは、高校二年生のときだった。大道芸ワールドカップのポランティアである「市民クラウン」の養成講座の募集を広報紙で見ても、すぐさま申し込んだ。子ども頃から、目立ちたがりやで、人前で何かやるのが好きだった。クラウンをやれば目立つだろう。当初はそんな単純な思いであつた。

二十歳のとき、大道芸ワールドカップで鶴岡アキラのパフォーマンスを見て感銘を受ける。パントマイムをベースに、コメディやダンスの要素を交えた独創的な演技。もっちは大いに影響され、パントマイムのビデオを取り寄せて独学で練習し始めた。

その二年後、鶴岡の出身サークルである「パントマイム舞☆夢☆踏（まいむとう）」に入団。舞☆夢☆踏は早稲田大学を練習の拠点としながら、大学という枠を超えて誰もが参加できるサークルだ。鶴岡のほかにも主宰者のハッピー吉沢やサンキュー手塚など、大道芸で活躍する多くのパフォーマンスを輩出している。

もっちは舞☆夢☆踏の練習に通うため、生まれ育った静岡を離れ神奈川県相模原市で初めての一人暮らしを始めた。

当時の生活はハードなものだった。生計を立てるために昼間は医療事務のアルバイト、夜は夜中までファミレスでアルバイト、それぞれ週に三日以上やっていた。

本業の「パントマイムは、舞☆夢☆踏だけでなく、カルチャースクールに通い他の講師からも教わった。また、自分のパフォーマンスの原点であるクラウンも、三つのクラウンのグループを渡り歩いて学んできた。その他にもダンスのレッスンを受けたり、可能な限り勉強を詰め込むような日々だった。「完璧主義」ゆえに、理想のパフォーマンススタイルに少しでも自分を近づけていこうとしたのだらう。

しかし、東京でレッスンを明け暮れる生活を四年を経た頃。もっちは体調を崩し、結果静岡の実家に帰らざるを得なくなった。昨年六月のことだった。

静岡に帰るといふことを、もっ
ちは前向きに捉えていた。当時
すでにクラウンとしてイベント出
演の依頼が舞い込むようになって
いたもっちは、「クラウンが多い
東京よりも、静岡のほうがやる機
会も多いかな」と新天地の開拓に
やりがいを見いだしていた。また、
大道芸ワールドカップでクラウン
に馴染みの深い静岡の人々を相手
に演じるのも楽しみだった。

実際、静岡のお客さんの反応は、
他の地域とは違ったものがあつた。
グリーディング（一箇所にとどま
らず会場を歩き回るパフォーマン
ス）をしていても、静岡の子ども
達はクラウンに慣れているので積
極的に近付いてきてくれる。大人
も「ほら、クラウンさんだよ」と
日本では「ピエロ」と誤った呼ば
れ方をすることが多いなか、正し
く呼ばれることが多く、嬉しかつ
た。

一方、クラウンが広く知られて
いるゆえのやりにくさもあつた。
イベントの担当者が、表面的にし
かクラウンを理解していないため
に、衣装を着てメイクをして、ひ
たすらパルーンを配ってほしいと
いうような依頼が来ることも少な
くなかつた。やりながら「これ、
私じゃなくてもいいんじゃないの」
と思うこともあつた。クラウンは
もつと面白いことができるのに、
クラウンは認知されているのに、
本質的には理解されていない。そ
んなジレンマを感じるものがしば
しばあつた。

休業後は、プロのクラウンとし
てバリバリ仕事をやっていくので

はなく、「趣味的に」本当に自分の
やりたい活動をやっていきたいと
考えている。

イベントの出演依頼では、「すこ
いこと」をして「盛り上がる」こ
とを依頼主から期待されることに
多い。しかし、もっちはの本当に
やりたいパフォーマンスは、「クス
クスという笑い」が起るような、
クラウンの「味」を出すものだ
という。

「盛り上げ系」ジャグラーに
はない、癒しの笑いは提供できる
自信があるんです」

それが、イベント出演等の収入
につながりにくいのは承知してい
る。しかし、自分が納得できるパ
フォーマンスをやるということに
大切にしたい。本当に自分のパフ
オーマンスが活かされる場でやっ
ていきたい。

ひとつ、新しくやろうと思つて
いる活動がある。

「ケアリング・クラウン」
病院や介護施設などを訪れ、入
院中・入所中の人とふれあうクラ
ウンのことである。

それをやりたいと思つたのは、
友人の働く特別養護老人ホームで
パフォーマンズしたのがきっかけ
だった。演技後、友人に言われた。
「普段は寝たきりで笑わない人が、
手をたたくて喜んでたよ」

もっちは、そこでこそ「癒し
の笑い」が活かされる、クラウン
が、自分が活かされると思つたの
だろう。

もっちは、既に休業後の活動
を考え始めている。
新緑の季節に、もっちははきつ
と、颯爽と帰ってくるに違いない。

七月三日から毎土曜日、三週にわたって静岡
県舞台芸術センター主催野外劇場フェスティバ
ル二〇〇四が行われた。舞台となつたのは、日
本平中腹にある静岡県舞台芸術公園内野外劇場
「有度」。この山奥の劇場は夜になると暗闇に覆
われ、舞台照明でぼや々と浮かび上がる背景の
深い森は、見る者を幻想的な世界へと誘う。本
フェスティバルへの参加理由として静岡の舞台
活動家の多くは、この劇場の不思議な魅力を第
一に挙げる。私は本来舞台演者ではないが、こ
の劇場の魅力に取り付かれ
た人間の一人である。今
回、三年連続となる本
フェスティバルへの参
加を果たした。過去二
年は大道芸サークルと
いう名からは連想され
ない不条理で抽象的な
パフォーマンズを創作
したが、今年はこの
大道芸サークルならで
はのスキル、つまりは
おそらく誰もが連想す
るのであろうジャグリ
ングの要素を取り入れ
た。参加メンバーは、
静岡大道芸サークル
「あま」の中でも特に際
立つたクセ者である

舞台に挑戦2004



うものと、形を変えながらも残っていくものの切
なさや希望のようなものを見出す、というもので
あつた。おそらくなどと曖昧な言い方をしてもま
ったが、今回の表現の特徴としては三人がそれぞ
れ自分で考えたものを遺影として持ち寄って作り
上げたため、私がこうであるとして説明したと
ころで、それは正しいものではないのである。ジ
ヤグリングは三人が関わり合う、対決や調和の場
面で使われた。前述の通り、一見訳が分からない
上に作者不在的なベクトル無視のパフォーマンズ
ながらも、観客の満足中枢
を刺激するであろうジャグ
リングの効果は大きく、本
番は小雨がばらついたにも
関わらずなかなかの盛況。
同時公演団体の素晴らしい
パフォーマンズに支えられ
ながら、今回の私たちの挑
戦は充実感のうちに幕を下
ろした。

私たちは大道芸サークルを
名乗る以上、連想される演
目を演じるべきであり、お
金を預かった上でパフォー
マンズする以上、観客が期
待する演出を見せるべきで
ある。これらの「べき」は
遵守すべきものだ。しかし
舞台は本来、パフォーマー
が本当にやりたいことをや
る場所である。自らの支援
者、つまりはファンを獲得
した上で、ファンに対して

案内すべきものであると理解している。だからこ
そ、幾つかの団体が同じ舞台でそれぞれの作品を
上演する野外劇場フェスティバルは、それだけ
様々な観客が集まる場であり、自力で観客をま
もりに集められない私たちにとってはまさに挑戦だ。
それは大道芸の意外性を見せ付けることでもあり、
新たなファンを獲得することでもあり。私たちの
挑戦はまだ始まったばかりだ。

【あま】

すっかり静岡の秋のイベントの顔となった「大道芸ワールドカップ」は今年で十三回目

「Shizuka」は今年で十三回目目を当日の変更事項、清掃場所の確認をむかえます。

開催当時は大道芸に全く興味が無かった私も今やすっかりはまっています。二年前からは「天使の羽」というボランティアとして参加するようになりました。

今では各地で行われるようになった大道芸のイベント。ほとんどがボランティアです。演技開始にはまだかなり時間ツツが活躍していると聞きます。

しかし「天使の羽」という名前のスタッフはどこにもないだろうと私は密かに自慢に思っています。

「天使の羽」と聞くと皆さんはどのような活動を想像しますか？名前のおり、背中にはちゃんと羽を付けています。そして手には軍手をはめ、天使のイラストが描かれている袋を持っています。

そう、会場内に落ちていたゴミを拾っているのです。

昨年からはゴミを捨てないで持ち帰ろう！という啓発活動も行っています。

よく人に言われるのが、「スタッフやってくるの？じゃあ近

くでパフォーマー見られていいね」「一番見やすいところで見られる

「おはようございます」の挨拶。ゴミって本当にいろんな所に落ちているんです。ゴミ箱に入りきら

ず周りに放置されているのはまだいい方。ひどくなると植え込みに隠すかのように捨てられていたり、こちらが感心してしまうほど上手く捨ててあります。そのようなこの

午前九時三十分 集合

まずは朝のミーティング。

活動時間までほんのひとときみんなと談笑しチームワークを深めて

ます。

午前十時 活動開始！

羽を付け、いくつかのグループに別れいよいよ街中に繰り出します。演技開始にはまだかなり時間

があるのに、すでに多数のお客様は街中にいます。中には

とがあるので常にあちこちを見て歩いてます。

もちろんゴミ拾いだけではあり

ません。天使のイラスト入りゴミ袋をお客様に配りながらゴミを持

って帰ってくださるように呼びかけ。ゴミ袋とい

って侮るなかれ。この袋、本当に可愛いんです。

是非天使を見かけた袋をもらって

お時間がある時にそこに足を伸ばしてみてください。そこにはいく

つかゴミ箱が集まっています。よく見ると「燃やせるゴミ」「ペットボトル」など箱一つ一つに書い

てあります。

そう、分別回収をしているのです。もうすでに皆さんの住んでいる地

域では、ゴミの分別は当たり前になっ

てしまおうとかなかなかこれができていない状況です。せつかくりサイ

クルできるペットボトル・アルミ缶も同じゴミ箱に捨てられてしま

うと、再生できずそのまま焼却場に。そんなことがなるべく減るよ

うに、また普段から細かく分別を心がけるようにと、私たちがその

場で分別を呼びかけています。

午後十二時 お昼休憩

あつという間に午前中が終わりお

昼休憩。ご飯を食べながらもグル

ープで情報交換。あそのゴミ捨て場はきれいだったとか、袋を喜

んでもらっていったりくれたとか。分別についてこんな質問があった

けど実際はどうなのか、など。休憩中なのになぜかみんな頭の中は

天使のことで一杯です。

午後一時 午後の部開始

基本的に午前中と同じ仕事です。でも、さっき拾ってきれいになっ

た場所もすでにゴミがちらほら。別と呼びかけ。公式パンフレット「リサイクルステーション」なるも

はあつと言う間に過ぎてしまします。

午後六時 解散

すべてのグループが集合し、今日の報告。そして解散。

元気があつた人はナイトパフォーマンスを見に行ったりとここで初めて自由に大道芸三昧！

こうして書くとスタッフって大変なだけ、と思われるかもしれませんが、そんなことはありません。そこから得られるものはたくさんあります。興味がある方はチャレンジしてみてください。大道芸をもっと好きになること間違い無し。

天使の事を書いてきましたが、私達全てのスタッフは、一つのボランティア憲章のもと日々がんばっています。その憲章は「All for you, it's my pleasure」全てはあなたのために、それが私の幸せです。という意味です。これはスタッフだけでなくお客様にも言えることです。

例えば座るスペースが少しでもあつたならみんな詰めてみてください。それだけで一人の人が座れるのです。

ほんの少しだけ、人に優しさを

持って接してみてください。それ

だけできつとあなたもそして他の

人もきつと幸せになれるはずす

から。

文【ミーコ】

写真【石川氏】

Everybody has angel wings!



大道芸いんぷお

◆特に記載のないものは
入場無料です

十月十七日(日)

第十回由比福まつり

場所 由比本陣公園
及び旧東海道周辺
時間 十時～十六時
出演

「大道芸」駿河葵一座 登呂一座
今日花・明日花 いずのすけ
一座 あまるとゆかいな仲間たち
ち(あまる のつてい さぼこ YUKI&あべうち&あつきー MAKU)
「ちんどん屋」
夢街道匠一座 どんち家

十一月六日(土)

こんにちはフェスタ

場所 中部電力静岡営業所
静岡市曲金六ノ三ノ三八
(054-202-1821 市川)
時間 十時～十五時
出演 かずや (一回～二回)

十一月二十一日(日)

美和小バザー

場所 静岡市立美和小学校
時間 バザー 九時～十三時
大道芸 十二時～
出演 かずや

浜名湖花博「いろどり広場」

◆観覧には入場券が必要です

浜名湖花博インフォメーション
(053)-488-1087 (9:00～18:00)
<http://www.flora2004.or.jp/tems/pc/top/A0010.jsp>

十月十日(日)

時間 十一時半～十二時半
十四時～十五時
出演 駿河葵一座

十月十一日(月)

時間 十四時半～十五時
出演 阿波踊り浜松市連同好会

浜松アクトタワー

二階ガレリアモール
(053)-451-1212
<http://www.act-tower.co.jp/>

アクトシティ十周年イベント

十月九日(土)
時間 十三時～十五時
出演 アパッチ

十月十日(日)

時間 十四時～十六時
出演 富士CMダンサーズ

十月十一日(月)

時間 十三時～十五時
出演 ダンディーGO
時間 十四時～十六時
出演 サンバカーニバルショー

十月三十一日(日)

アクトガレリアパフォーマンス
時間 十二時半～十四時半
出演 矢部亮

東海ガス展

十月二十二～二十四日(金土日)
十一月五・六日(金土)
十一月十二～十四日(金土日)
十一月二十～二十一日(土日)

出演 にゃんこ
週ごとに場所が変わります。
詳細は
http://www.geocities.jp/balloon_nyanko/ まで

大道芸ワールドカップin静岡

十一月三日(水・祝)～七日(日)
◆詳細はガイドブック(十月中
旬)下旬発売)または、
<http://www.daijoge.com/>

静岡で活躍中のパフォーマー、
トリックマスター TAKASHI
彦一団子 あまる TOMI Tacky
ももっち も出演します

ザザシティ誕生祭

ザザシティ浜松・中央広場
(053)-413-3333
<http://www.zazacity.jp/>

十一月二十日(土)

雨天中止
時間 十二時～十六時(随時)
出演 BINGO the clown
十一月二十一日(日)
出演 彦一団子
いんぷお担当【チャリ】

週末大道芸で賑わっていた広場に、平日ふらりと立ってみた。何の変哲もない石畳。立ち止まる人もなく、どこかひっそりとしている。足早に行き過ぎる人をぼんやりと眺めながら、週末、確かにそこで観たパフォーマンスを思い出す。

大道芸人って、電磁石みたいだな。(笑)
彼がそこに立つだけで、何の変哲もない広場に色が付く。多分小さな気合を入れて、彼の目が真剣味を帯びた瞬間そこに小さな磁場が出来始める。
弱く磁力を放ち始めた彼の前に、まばらに人が立ち止まりだす。サテツが磁石に吸い寄せられていく様とどこか似てる。

やがて彼の放つ磁力は強さを増していく。
彼の作り出した磁場に引き寄せられた人たちにもそれが伝わっていく。
拍手、歓声、笑い声。
電磁石に帯電して磁石化した観衆が、その外側にも人を引き寄せ始めて、
そうそう、振り返ったらすごい人ばかりで、みんな夢中だったわけ。

きつと、私の知らない色んな町で、雨の降らない週末にできる磁場。そこに立つ芸人さんによって、色も強さも違う磁場。
帯電する心地よさに魅了された、私は鉄の多い女?(笑)
彼らが道の上に作り出すステージを楽しみに、週末の晴天を祈りつつ、広場を後にした、ある昼下がりでした。

【藤原 智美】

しずおか大道芸新聞 第十三号

二〇〇四年十月七日発行
発行部数 二五〇部

編集長 ひろし hiko@hikoichi.net
編集・発行

NP0しずおか大道芸のまちをつくる会
<http://samarukai.kr.fc2.com/>

みなさんから
の大道芸関連
の投稿をお待
ちしています。
文章、イラスト、写真、随
時募集してい
ます。